

## 都市計画道路大西大通り線に関する近隣住民説明会の結果報告

### 1 開催日時・参加者数(合計参加者 105 人)

日程	時間	参加人数	質問者数
7/11 日(金)	18:30 ~ 20:35	49 人	6 人
7/13 日(日)	10:00 ~ 12:00	56 人	5 人

会場:緑区合同庁舎 4 階 集団指導室

<市の出席者>

本村市長、奈良副市長、都市建設局長、都市建設局理事(まちづくり担当)

リニア駅周辺まちづくり担当部長、リニアまちづくり課長、リニア拠点整備事務所長

### 2 説明内容

説明会資料 本日のプログラム(次第) 参照

### 3 市長から地権者・住民の皆様へ

- 大西大通り線の関係で、地権者・近隣住民の皆様には、大変なご心配とご負担をおかけしており、大変申し訳なく思っています。本日は皆様のご意見に対して、私の言葉として、直接お答えをしたいと思います。
- 本年4月の住民説明会以降、5月14日から戸別訪問を行っており、現在第一工区では69.5%の皆様に、後続工区では63.7%の皆様に、お話やご意見・ご質問等をいただきました。
- 平成28年8月に広域交流拠点整備計画で方向性をお示しし、当初は、市道大西(現道)を拡幅するという形でお話していた状況の中で、6年後、令和4年6月に、現在の大西大通り線の道路位置をお示しさせていただきました。交通管理者・バス事業者との協議等に時間がかかってしまい、この間、皆様に十分なお説明ができていなかったことは、大変申し訳なく思っています。
- リニア事業へご理解いただき、区分地上権設定にご協力いただいた多くの皆様に対して、再度、道路事業というお話となり、大変心苦しく思っています。
- 令和5年3月に、区画整理事業と街路事業について都市計画決定を行いました。令和7年3月には、議会において路線認定について議決をいただき、4月には、道路区域の決定を行いました。このように市では必要な手続きを段階的に進めてまいりました。
- 大西大通り線については、相模原市の今後にとって大事な道路であると思っています。橋本駅南口のまちづくり、そして圏央道へ接続する大きな幹線道路の一つとなりますし、国道16号の交通の円滑化のために必要な基幹道路と思っています。
- 相模原市にとりまして、リニア中央新幹線新駅ができるということは、首都圏南西部の広域交流拠点として、大変重要なことです。駅ができて終わりではなく、訪れたいまち、降りたくなる駅にしていかなければならないと思っています。

相模原市においては、このリニア開業という千載一遇のチャンスを生かす必要があります。

- ▶ 令和5年11月には、まちづくりガイドラインをお示しさせていただき、4つのゾーニングに分けて、どんなまちができていくかということをお示しさせていただきました。これからは、まちの絵姿が皆様に分かるような形で、お示してまいりたいと思っています。
- ▶ 昨年12月には、リニアまちづくり推進本部会議を設置しまして、私を本部長として、観光や商業などを含めて、選ばれるまちになるべく、検討を進めています。
- ▶ 今年4月からはリニア拠点整備事務所を新たに設けて、地権者や住民の皆様から、ご意見を賜れるような環境整備を行いました。特に大西大通り線を中心として、お困り事、ご不安事、様々お聴きするため、今後橋本に拠点を持てるように、進めてまいりたいと思っています。
- ▶ 代替地について、市は寄り添っていないのではないかというお話もいただきました。また、多くの皆様から、移転先への不安の声もたくさんいただいています。そうした中、市内の不動産関係3団体と本年7月3日に協定を結びまして、皆様の移転先に係るご要望を伝えさせていただき、相談ができるような、新たな仕組みを構築いたしました。
- ▶ この事業はどうしても必要不可欠な事業ではありますが、皆様のご理解無くしては進められない事業だと思っています。これからも、皆様との対話をしっかり重視し、ご理解いただけるよう、1歩1歩この事業を進めていきたいと思っています。

#### 4 質疑応答

次ページ以降に掲載

#### 5 今後の対応

- 大西大通り線の必要性や効果等について、数値等によりお示しできるよう検討します。
- 不動産情報の提供に係る取組について、市としても状況把握ができるよう不動産団体と具体的な運用方法の協議を進めます。

【質疑応答】

( )は参加者からの質問・意見、→は市の説明

7/11(金)

(1) 妻は今の土地が便利だと言っていて、娘に譲りたがっていたのに、突然退去しろと言われて納得がいかない。高齢で引っ越す気力も、体力も、行き先もない。なんでこんなに悩まされなければならないのか。法令に従って、構想段階から住民に相談すべきであった。市議会などで丁寧な説明をすと言っているが、法令違反を問いただしても、一切返事をしようとししない。丁寧というのは口先だけである。法令に沿った正しい道路、都市計画審議会の意見書で一番多い地域住民の民意である市道大西(現道)を提案する。(以下、提案内容)

- ・大西大通り線の新設発表は道路新設ガイドライン無視、都市計画法違反。
- ・なぜ国のガイドライン※を踏まえないのか。ガイドラインは、行政に対し強制はしていないが、ガイドラインを採用しない例外措置は書いていないため、市の行為は違法である。(※国交省「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン」)
- ・「掘らせろ、(そしたら今度は)退去しろ」。大西大通り線の新設の話はせず、リニアのトンネル掘削のために区分地上権を設定させたことは都市計画法違反。
- ・道路新設の場合、大西大通り線を新設するのが良いのか、現存の市道大西(現道)を活用するのが良いのか、複数案を構想の段階から発表し、比較検討を行うことになっている。市が提案した16号国道の立体化・6車線化は大西大通り線の場合、比較道路にはならない。市道大西(現道)の拡幅整備が先である。
- ・「法令違反の上、100軒の家を退去させ174億円の公費を費やし、大西大通り線をつくること」と「市道大西(現道)を活用することで、100軒の家とその家族の生活平穩権が守られる」ことと、どちらが社会通念上妥当か。市は現存の市道大西(現道)の整備活用について全く触れようとせず、黙ったまま説明に応じないのは都市計画法違反。
- ・大西大通り線の新設目的はリニア駅と「相模原 IC とのアクセス機能を向上させるため」、「周辺道路の交通の円滑化のため」とあるが、数字による具体的な説明がない。
- ・道路構想の段階から相談があれば、違法な行政により私有財産が失われることはない。その上私有財産を保護すべき機関である都市計画審議会・相模原市議会が市の法令違反を問題に取り上げなかった。
- ・市は7700台の交通量は市道大西(現道)で対応できることを認めた。
- ・市道大西(現道)は幅員12m。武蔵野市が整備改善した市道291号線という道路も幅員12mだが、歩道・自転車道・車道があり、立派に都市計画道路、幹線街路として機能している。
- ・市道大西(現道)を整備改善してもらえれば、活用可能。市道大西(現道)の活用が、法令に沿った形で、最善の方法だと思う。都市計画決定を変更することを提案する。

→部長： 大西大通り線は、まちづくりに必要不可欠。皆さんに負担をおかけするというこ

とで、ご意見をいただいた中で、移転先の話などを考えて、本日の説明に至っている。皆さんのご理解・ご協力をいただかないとこの事業を進められないと思っている。

国交省のガイドライン「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン」については、全国画一的に運用するものではないという認識である。広域交流拠点整備計画の策定の時に、地権者ではないが地域の代表の方2人をはじめ、学識経験者等で構成された委員会で審議し、市民説明会を杜のホールで開催したり、まちづくりと合わせてパブリックコメントで意見をいただいていた。

都市計画法の手続きを踏まえた中で、都市計画審議会において、大西大通り線を含めたまちづくりが妥当であるという答申を受けているため、都市計画法の違反という認識はない。

令和4年6月の近隣住民説明会より前に、具体的な道路の線形をお示しすることができなかつた中で、区分地上権設定にご協力いただいた方について、更に道路のご依頼をした点は心苦しく思っている。説明の内容について、一人でも多くの方にご理解、ご納得いただけるように考え、対応していきたい。

市道大西(現道)を使用すべきという意見については、橋本駅南口駅前の土地利用を有効活用していくという中で、南口の道路の形を考えた。相模原インターチェンジ方面への直達性を考慮して形を決めた。こうしたことから、市道大西(現道)を使うことはできないと考えている。大規模事業評価でも、新しいまちづくりの開発に伴う新しい交通が発生することから、国道16号に更なる負荷がかかる。その負荷を16号で対応するならということで、6車線化案や立体化案を新設道路の整備案と比較した。

→市長： 都市計画審議会では、有識者や市民、市議会議員が入っている。都市計画の手続きとしても素案の縦覧、公聴会、県知事協議、原案の公告、意見書の提出を経て、審議会で議決している。そのため、都市計画法には違反していないと考えている。計画については、現時点で、白紙に戻す考えはない。しかし、いただいたご意見やご質問に関し、平成28年の広域交流拠点整備計画の策定以降、寄り添いが足りていないと思っており、心苦しく思っている。今後も対話を行っていき、真正面から向き合っていきたい。

(2) 畑や山林ではなく人が住んでいる住宅地に通す道路であるのに、住民に意見も聴かず、説明もなく始めたことが誤りである。

→市長： 心苦しく思っている。都市計画法について、手順を踏んで手続きを進めてきた。

(3) 都市計画審議会で答申を得たと言っているが、法令違反で進められているという傷は消えない。違法は間違いない。都市計画審議会に私たちを出してほしい。実態を伝えたい。定期的に中間報告をするようになっている。

→市長： 実態について都市計画審議会に伝え審議してもらっている。私自身、令和5年

度以降、説明会に参加したかったが、機会を設けられなかった。対話の機会をもっていないといけないという覚悟をもって説明会に臨んでいる。

→課長： 都市計画審議会については、傍聴は可能だが、話をすることはできない。

(4) 道路をつくることに反対。説明会を何回やっても、決めたことを言うだけで、住民の意見を全く聴いていない。お金を出すから出て行ってと言っている。移転先の説明もなかった。今の生活よりも悪くなる、みんな良い思いしない。白紙に戻して出直し、住民と話をすれば良い。市長も相模原市の人が幸せに暮らせるようにと言っているが嘘。道路ができて、測量はさせない。最初に戻して、話し合いをすれば納得する。

→部長： 長年お住まいの土地をこの事業でお譲りいただくことになりご迷惑をおかけしている。ご納得いただける移転先の確保のため、個々の事情を聴きながら、不動産業界から素早く情報をキャッチできる仕組みを作った。引き続き、汗をかき、ご理解いただける努力をしていく。

→局長： 私どもとしては、都市計画法の手続きを踏んだ上で進めさせていただいて、先ほど市長からも、ご説明をさせていただいた通り、道路認定についても市議会の議決を経て、その後、区域の決定をさせていただいた。これについては、法令違反はないと考えており、広域交流拠点整備計画から提示までに時間が経ったことは申し訳ないと思っている。

→市長： ご意見を大変重く受け止めている。ご理解がないと事業は進まないと思っている。この地で長く住んでいる、最近来られた方もそうだが、ここに長く住むつもりで来られたと思っている。嫌な思いと言われたが、つらい話を皆さんにしているため、ごもっともな部分もたくさんあると思っている。移転先の話については、手薄だったと反省している。こうしたことから、不動産3団体と協定を結んだ。ご希望を伺い、宅地を紹介できる仕組みを作ったため、お披露目させていただいた。全ての皆様のご意見について、重く受け止めている。職員にも、道路計画で立ち退く方の気持ちになって対応するよう常々言っている。しっかりと重く受け止める。

(5) 図面を見ると、道路幅22mのうち実際の車道は7mで片側一車線。今の市道大西(現道)もこれくらいあるのではないか。カッコ良い「まち」ができるから、カッコ良い道路をつくろうと考えたのが間違い。計画を決めたから進めたい気持ちは分かるが大げがする。住民参加で良い街をつくっていくために私たちの声を反映できないかと思う。一旦白紙にして、住民参加にすると意外と早く進むのではないか。強引にやるからおかしくなる。

→課長： 大西大通り線の幅員は、ご指摘の通り22m。車道や自転車道、植栽帯がある。道路を新設するときには、安全のために自転車道の整備が必要。現道においては整備できていないところもあるが、新たな道路をつくる際には必要。大西大通り線は、橋本のまちづくりに必要な道路だと思っている。

→市長： 手順を踏んで、都市計画法に則って進めてきたが、対話が足りないということを実感した。現時点で、白紙に戻す考えはない。他の都市計画道路と比べても多く

の回数、話を重ねてきたが、ご意見が出るということは、私たちの努力が足りない  
と思っている。

(6) 移転先の支援策について、不動産情報の要望ができる市の窓口を教えてください。

→所長：市の窓口はリニア拠点整備事務所になる。開催案内に記載の電話番号、メール  
にお問い合わせいただきたい。具体的な方法については、今後皆様に周知を図る。

〔お問い合わせ〕 リニア拠点整備事務所  
TEL:042-704-8910、メール: [linear-kyoten@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:linear-kyoten@city.sagamihara.kanagawa.jp)〕

(7) 1回目の説明の時にこのような話ができればよかったのかもしれないが、従来の説明  
通りで、進歩がない。資料4～6が増えただけ。令和6年5月11日、12日、16日の説明会  
で、市長は何件の質問が出たか知っているか。45件の質問が出ている。我々はその回答  
に納得できていない。こうした説明会に市長を呼ぶということは、職員は市長に判断を  
投げているのではないか。

→市長：昨年5月の説明会の質問数は把握していなかった。こうした説明会、反対する会  
との会を実施するたび、職員から説明があり、住民の方のご意見をしっかり報告し  
てもらっている。私が出席できない時も、職員は市長の代わりとして出ている。

(8) 職員にミスが多い。リニア駅の函体の上に建物が建てられないと言っていたのに、建  
てられると指摘したら資料を間違えましたと言っている。そんな重大なことを間違えま  
したで済むのか。平成29年に市道大西(現道)の拡幅工事と聞いて良いなと思い、平成  
31年にJR東海と区分地上権設定契約をした。その3年後に突然大西大通り線が発表さ  
れた。市はJR東海と受託契約を結んで区分地上権設定を進めていたのに、道路事業に  
ついては「知らない」の一点張りだった。仮に市と契約段階まで進んだときに、落として  
いる項目があると言われたらどうするのか。信用できない。

→市長：一人一人の生活があり、心苦しく、重く受け止めている。職員が間違えることは  
あってはいけないが、間違えた時は、私の責任。ごまかさず、素直にお詫びをして、  
誠心誠意尽くすようにと言っている。市の間違いやそのお詫びの気持ち、皆さ  
んにしっかり届いていない点は改めてお詫びをする。

平成28年の広域交流拠点整備計画の際、国道16号との東西の交差道路につい  
て4車線化、立体化の想定があった。その後、バス事業者や交通管理者、JR東海、  
庁内で議論し、平面2車線で行けるという話になった。当初は緑と憩いの軸を考え  
ていたが、土地の有効活用をしていくという中で、リニア駅の函体の上に道路を載  
せたほうが良いとなり、国道16号から先を直線で繋げていくために今の線形が決  
まっていった。皆さんにお示した令和4年6月までの約6年間、こうした経緯をお  
示しできなかったことは申し訳ない。職員の対応はすべて私の責任。職員共々、襟  
を正して臨んでまいりたい。

(9) 平成29年に、市の職員2名と市議会議員1名から西橋本自治会館で受けた説明では、国道16号の立体化ができないのは予算上の理由と聞いたが違うのか。

→部長： 予算上ということではない。

→市長： どなたが言ったのかは不明だが、聞いたということであればお詫びをしなければならない。交通量を含め、各社との協議の中で、2車線で行けるとなり、庁内でも議論を重ね、方向性を決めた。信頼のある関係で議論していかなければならないと思っている。事実をしっかりお伝えする。無駄と思われてはいけない。行政として、公正、平等、透明性をもって進めていく。間違ったときはすぐに訂正させていただく。信頼を得られるように対応していく。

(10) 説明会のたびに資料を読み返している。前々から同じ話をしており、誠意をもって回答してくれていれば法律論にならない。スタート時点から間違えている。補償の話より前の話である。

→市長： 担当者が変わろうとも、しっかりと引継ぎをしていく。議事録も共有する。職員の失敗は全て私の責任。皆さんと笑顔で接することができるよう、もっと対話をして、行政が信頼されないといけない。法的なお話についても、できる限り検討してお伝えしていきたい。

(11) 東村山市に住んでいる姉が都市計画道路にあたったが、市の職員が一生懸命でありがたいと言っていた。信頼関係がある。ここ(住民)からそちら(市)は壁。

→市長： 壁が取り除けるよう、寄り添ってもらえていると思っていただけるように対応していきたい。

(12) 令和4年6月に説明を受け、8月に都市計画の案が示された時に大西大通り線が示されたと思っている。年齢構成の高い社会で、安全性が第一だが、安全性が十分に見て取れない計画。緩やかなカーブで現道に擦り付けると言っているが、60~70mだけ。直線的に伸ばしながらと言いながら、象の鼻のようにカーブして現道に擦り付ける計画。実際にはカーブは鉄塔を避けているだけ。西橋本2丁目交差点は学童の交通路、安全性が示されていない。旧道との間に挟まれる人たちは騒音の問題もあり、快適で安全な生活がどこにあるのか。雨水調整池の工事の安全対策も検討されていない。地元住民の声に耳を傾けてほしい。都市計画道路というのはそういうもの。我々に十分な説明をしてほしい。リニア駅の函体の上には道路しかできないという嘘から始まっている。

→課長： 大西大通り線はいくつもの既存道路と交差し、通学路にもなっているので、整備に当たっては安全性の確保をしていかなければいけないと思っている。地域の皆様とも調整しながら進めていかなければいけない。事業着手となれば具体的な設計をしていく段になるので、交差する道路、雨水調整池の工事をより安全に進められるよう調整していく。

(13) 緩やかなカーブ、直達性といった言葉でごまかさず、正直に言ってほしい。不確実な、公益性のない計画の犠牲になるのは嫌だ。私が住んでいるところも、鉄塔と同じように重要なところである。

→課長：線形については、資料16ページにおいて、基本的な考え方を示している。大規模な構造物を避けながら、経済性や土地利用を考慮し、緩やかなカーブで擦り付ける。西橋本2丁目交差点の形状、現道への擦り付け方をしっかり考えていきたい。

(14) 5mの歩道等、2.5mの自転車道が両側にあるとのことだが、22mも本当に必要なのか。狭くすれば、救われる住宅もあると思う。

→部長：道路の構造については、道路構造令に照らして、必要な構成を検討しながら決めたもの。引き続きご理解いただけるように説明していきたい。

7/13(日)

(15) 前回の説明会で、大西大通り線が完成して道路としての効果を発揮するのは18年後だと聞いた。その頃、リニアは開通していると思うが、大西大通り線の効果は発揮されないのでは、今ある道路を使っていかざるを得ない。その間、今ある道路でさばけるといふことであれば、大西大通り線の役割は何なのかと考えてしまう。

→部長：大西大通り線の役割について、国道16号から、西橋本2丁目交差点までを第一工区として、令和15年3月の完成を目指すこととしている。後続工区は第一工区以上の期間を要すると考えているが、第一工区の進捗を見据えて進める。まちづくりについては、令和17年度を目標として基盤整備を進めることを目標としている。一部分については、建物の建築工事が始まり、または完成しているところもあると想定している。リニアの開業時期がいつになるかは見えていないが、まちは少しずつできあがっていくので、交通量も段階的に増加すると考える。そうした中では、国道16号の交差点、第一工区を整備して、交通の円滑化を図りたいと考えている。

(16) 第一工区だけでは道路として成り立たない。

→部長：最終的には、相模原インターチェンジ方面への直達性というところで、後続工区もしっかりと整備して、橋本駅南口の交通拠点としての機能強化を図っていく。まちづくりの進捗に合わせて整備していかないといけないと考えている。

(17) 大西大通り線はある時点から方針が変わって、リニアのトンネルの真上を通るように変更された。JR東海にとっては、トンネル位置が浅いところの上に住宅があることがリスク。市が道路を整備して(リスクを)補っているのではないかと。

→課長 資料の16ページ、17ページが大西大通り線の線形を決めた考え方である。平成

28年の広域交流拠点整備計画では、リニア駅の函体の上は、大型構造物を載せるのではなく、公園や広場の計画としていた。土地利用を考えた際、高度利用の図れる土地を広くとる、接道がより広く確保できるという観点から、リニア駅の地上部に道路を載せることになった。その道路から国道16号へ出る際、市道大西(現道)とはクランク状態になってしまうことから、交通管理者との協議で、現在の線形となった。

(18) リニアのトンネルの上に道路の線形がピタリと合うのがおかしい。

→所長: リニアのトンネル事業に合わせて、大西大通り線をつくることにしたのではない。

→市長: 平成28年の広域交流拠点整備計画では、橋本駅南口駅前通り線を現在の位置より南側に、4車線での検討をしており、国道16号より西側についても4車線で検討し、国道16号を立体交差化するなどの検討をしていた。その後、交通管理者やバス事業者、JR東海と議論を重ねた結果、2車線とすることとなった。立体交差化が不要となったため、広く接道が可能となり、土地の高度利用も図れることから、橋本駅南口駅前通り線をリニア駅函体の上に載せるよう方針を変更し、現在の線形となった。

計画策定から約6年の間、市民の皆様への説明が不十分であったということは申し訳ない。また、区分地上権を設定された方について、再び新たな道路事業の話をしたことを心苦しく思っている。

また、大西大通り線については、直達性という説明をしているが、数値で示して欲しいという話もある。数値で説明ができていないことが課題と思っている。持ち帰らせていただき、庁内で検討の上、皆さんにお示しさせていただきたい。

(19) 大西大通り線の起点は橋本駅南口駅前通り線との接点から決めたということだが、橋本駅南口駅前通り線と橋本駅東通り線は何もないところに道路をつくる。大西大通り線は住民がいるところである。駅前に道路をつくるからどいてくれと言われても納得できない。駅前の道路を別の線形にすることは検討されていないのか。

→課長: 平成28年の広域交流拠点整備計画では、リニア駅の上は、広場や公園を検討していた。その検討と、駅の上に道路を載せることのどちらが良いかということ、駅前の土地利用の観点から検討したところ、今の線形にしたため、何も検討がなかったということではない。

(20) その検討は道路を上にするか下にするかといった検討か。例えば、線形を斜めにするとか、事業性の観点や住民の立ち退きに係る市が負担する費用面などは検討していないのか。大西大通り線は2車線の道路であり、大した交通量は見込んでいないのではないか。そのような道路を立ち退きさせてまでつくる必要があるのか。そのあたりの効果を数字で出してもらわないと納得ができない。

→部長: 駅前の道路の考え方を説明したが、意見をいただいた中で、わかりにくい部分

があると思っている。駅の南口のさらなる有効活用という観点からリニア駅の上  
に道路を載せている。ここに載せるのが、まちづくりとして一番望ましいものであ  
るということを、丁寧に説明してまいりたい。

(21) まちづくりとしてはこの道路の形状なのかもしれないが、住民が立ち退く点も考慮  
してほしい。

→市長： 市民の皆様がこの地で生活をしているということを重く受け止める。橋本駅南  
口駅前通り線をリニア駅の南側に新設する計画から、リニア駅の上に載せるという  
ことで、広く接道が取れること、大西大通り線が1日7700台通過見込みであるこ  
となどから、4車線から2車線とした。直達性について数値で説明ができていない  
点は課題である。改めてお示ししたい。

(22) (1)と同様のご意見・ご質問あり。(回答も(1)に集約しています。)

(23) 前より進んだ話をされている印象。不安な点として、戸別訪問でも意見があったと  
いう、事業がとん挫したり、市の方針が変わってしまうのではないかと不安がある。  
市に協力するため準備をしている人もおり、市道大西(現道)を使うということになると、  
何のために市に協力したのかとなってしまう人もいると思う。

→部長： 大西大通り線については、まちづくりに必要不可欠である。色々なご意見があ  
ることは承知しているが、ご理解をいただけるよう努めていきたい。

→市長： 50年、100年を見据え、橋本や相模原、多摩、県央等の985万人のいる地域  
の中核として、降りたくなるまち、訪れたくなるまちづくりのため、大西大通り線は  
必要不可欠であるので、覚悟をもって臨んでいきたい。

(24) リニアにより将来が発展する見込みの中で、土地価格が上昇している。今までの価  
格は実勢価格とかけ離れており、移転先を探すことができないと心配している。実勢価  
格を踏まえた中で、補償の交渉に当たってほしい。

→所長： 土地評価について、橋本地区の土地価格が上昇していることは把握している。  
不動産鑑定士が入った不動産評価委員会の中で、価格を決定していくが、実勢価  
格は適切に捉えたと聞いている。移転に係る補償費を含めた概算価格を提示した  
中で、総合的なご相談をしていきたい。

→市長： 不動産評価委員会を経て、価格を決定する仕組みについて、ルールとして決め  
ている部分はあるが、我々もご意見を認識しながら進めてまいりたい。

(25) 道路ができあがるのは20年後で、その頃には更に人口減少が進んでいると思うが、  
リニアが必要なのかとは言わないまでも、道路が本当に必要なのか。地権者は命をかけ  
て土地を手放す。リニアが来れば5年、10年はバブルとなり、法人税が増えて、一時的に  
は潤うかもしれないが、問題はその後。20年、30年後の子世代に、負の遺産として残っ

たらやりきれない気持ち。市は、周りの市町村からどんな人が来て、どれくらいの人が大西大通り線を使うのかを考えているのか。大西大通り線は周辺地域の中心を担うのに本当に必要な道路なのか。数値で示してほしい。

→市長： 20年後の話について、ご理解をいただく必要がある事業である。子や孫、先祖代々のバトンを受ける方の負の遺産になってはならないというのはごもっともなご意見であり、「命をかけて手放す」というのは重い言葉と感じる。将来展望、人口推計を見据えた上で、道路の必要性を示していきたい。

(26) 移転先確保の支援について、市が地権者と不動産屋の間を取り持つという取組と認識したが、繋いだ後は地権者と不動産屋に任せきりということか。不動産屋も儲けなければならぬと思うが、その利益の上乗せ分や手数料を市が負担してくれるのか。

→所長： 本取組に係る協定は、権利者のニーズにあった情報を適宜紹介するということである。不動産取引では、必要経費や手数料が発生し、補償費の中で一部含むものはあるが、今回の提案としては、事業者の利益分を市が変わって負担するというものではない。

→市長： 地権者と各不動産団体とのやり取りについては、任せきりではいけないと思っている。どのような進捗で進んでいるか、個人情報に配慮した中で市としても関わっていかないといけないと思っている。

以 上